平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名　森永製菓株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2201　URL　http://www.morinaga.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 矢田　雅之
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長　(氏名) 杉浦　俊明　TEL 03-3456-0117

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	115,590	4.4	2,029	△16.2	2,231	△20.4	1,071	△15.9
24年3月期第3四半期	110,734	△8.9	2,421	△57.4	2,801	△53.0	1,273	△57.4

(注) 包括利益　25年3月期第3四半期　350百万円　(△82.0%)　24年3月期第3四半期　1,942百万円　(△13.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	4.11	―
24年3月期第3四半期	4.88	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	136,393	51,497	37.5
24年3月期	128,845	52,773	40.7

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　51,168百万円　24年3月期　52,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	6.00	6.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,800	7.2	3,450	22.6	3,700	17.8	2,000	85.0	7.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無
（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	270,948,848 株	24年3月期	270,948,848 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	10,516,517 株	24年3月期	10,201,173 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	260,615,138 株	24年3月期3Q	260,765,238 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○ 添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報…… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報…… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報…… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報…… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項…… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動…… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用…… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…… 4
３．四半期連結財務諸表…… 5
（１）四半期連結貸借対照表…… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間…… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間…… 8
（３）継続企業の前提に関する注記…… 9
（４）セグメント情報等…… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記…… 9
（６）重要な後発事象…… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、主力の食料品製造事業で東日本大震災からの復興の影響がみられたことや、積極的なマーケティング活動を行ったことから、全体では1,155億９千万円と前年同期実績に比べ48億５千６百万円（4.4%）の増収となりました。

損益は売上高が増収となったものの、一方でマーケティングコストの増加等により、営業利益は前年同期実績に比べ３億９千２百万円（16.2%）減益の20億２千９百万円、経常利益も前年同期実績に比べ５億７千万円（20.4%)減益の22億３千１百万円となりました。また、四半期純利益につきましても10億７千１百万円と前年同期実績に比べ２億２百万円（15.9%）の減益となりました。

セグメントの第３四半期連結累計期間業績は、次のとおりであります。

＜食料品製造事業＞

菓子部門

主力ブランドの「ハイチュウ」は新商品の売上が寄与し、「ダース」「おっとっと」は積極的にマーケティング展開したことで前年同期実績を上回りました。「ミルクキャラメル」「チョコボール」「小枝」は引き続き苦戦し、「森永ビスケット」も前年同期実績を下回り、主力ブランド全体は前年同期実績を下回りました。一方、夏場のチョコレート市場を創造している「ベイク」や「生ラムネ」「半生ケーキ」等のその他商品群が好調に推移したことにより、菓子部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

食品部門

主力ブランドの「ミルクココア」が前年同期実績を下回りました。その他商品群では「ケーキミックス」が前年同期実績を下回りましたが、「甘酒」等の飲料が好調に推移したことで、食品部門全体の売上高は前年同期実績並みとなりました。

冷菓部門

主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」は広告・ＰＲ効果もあり好調に推移しました。また「サンデーカップ」や「チーズスティック」等の商品も好調に推移したことで、冷菓部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

健康部門

主力ブランドの「ウイダーｉｎゼリー」が、東日本大震災の影響を受けた前年度より回復基調にあり前年同期実績を上回りました。また、「天使の健康」シリーズの通販事業も「おいしいコラーゲンドリンク」を中心に好調に推移したことで、健康部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は1,064億６千９百万円と前年同期実績に比べ5.1%増となりましたが、マーケティングコストの増加等により、セグメント利益は15億５千５百万円と前年同期実績に比べ２億７千１百万円の減益となりました。

＜食料卸売及び飲食店事業＞

売上高は、米国での売上が伸張したものの、国内の食料卸売事業が前年同期実績を下回り、事業全体で64億１千６百万円と前年同期実績に比べ3.3%減となりました。セグメント利益は２億６千９百万円と前年同期実績に比べて４千３百万円の増益となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、ゴルフ事業が前年同期実績並みとなり、事業全体でも22億７千万円と前年同期実績並みとなりました。セグメント利益は７億４千８百万円と前年同期実績に比べ１千７百万円の減益となりました。

＜その他＞

売上高４億３千４百万円、セグメント利益１億３千３百万円であります。

（２） 連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,363億９千３百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億４千８百万円増加しております。主な要因は、流動資産の現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加や固定資産の有形固定資産その他が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は848億９千６百万円となり、前連結会計年度末に比べ88億２千４百万円増加しております。主な要因は、流動負債の工事に関する債務の増加や固定負債の社債を発行したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は3.2ポイント減少し37.5%となりました。

（３） 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年11月２日発表の業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１） 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第１四半期連結会計期間より、持分法適用の非連結子会社であった森永食品（浙江）有限公司は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（２） 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成 24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,302	12,489
受取手形及び売掛金	19,100	21,240
商品及び製品	6,387	6,600
仕掛品	541	399
原材料及び貯蔵品	4,350	4,397
繰延税金資産	1,750	1,551
その他	5,124	3,901
貸倒引当金	△13	△8
流動資産合計	45,544	50,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,742	20,362
機械装置及び運搬具（純額）	12,281	12,433
土地	30,238	30,250
その他（純額）	2,887	7,983
有形固定資産合計	66,149	71,029
無形固定資産		
のれん	1,162	1,082
その他	464	526
無形固定資産合計	1,626	1,609
投資その他の資産		
投資有価証券	13,713	11,129
繰延税金資産	659	845
その他	1,190	1,248
貸倒引当金	△37	△40
投資その他の資産合計	15,525	13,183
固定資産合計	83,301	85,822
資産合計	128,845	136,393

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,719	17,313
短期借入金	21,088	4,410
未払金	9,159	9,206
未払法人税等	861	409
賞与引当金	1,860	972
その他	7,535	11,271
流動負債合計	56,226	43,583
固定負債		
社債	―	10,000
長期借入金	3,003	15,000
繰延税金負債	2,833	2,336
退職給付引当金	6,371	6,465
役員退職慰労引当金	111	107
資産除去債務	124	126
受入敷金保証金	6,770	6,651
その他	631	624
固定負債合計	19,845	41,312
負債合計	76,072	84,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	15,986	15,492
自己株式	△2,463	△2,518
株主資本合計	49,322	48,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,620	2,939
繰延ヘッジ損益	63	82
為替換算調整勘定	△623	△627
その他の包括利益累計額合計	3,060	2,394
少数株主持分	390	328
純資産合計	52,773	51,497
負債純資産合計	128,845	136,393

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	110,734	115,590
売上原価	56,919	59,157
売上総利益	53,815	56,433
販売費及び一般管理費	51,393	54,404
営業利益	2,421	2,029
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	316	319
持分法による投資利益	6	6
その他	405	331
営業外収益合計	735	665
営業外費用		
支払利息	203	195
その他	151	266
営業外費用合計	355	462
経常利益	2,801	2,231
特別利益		
固定資産売却益	18	283
投資有価証券売却益	－	4
関係会社株式売却益	978	－
特別利益合計	997	288
特別損失		
固定資産除売却損	203	354
減損損失	－	93
投資有価証券評価損	1,398	－
特別損失合計	1,602	447
税金等調整前四半期純利益	2,196	2,072
法人税、住民税及び事業税	1,057	1,183
法人税等調整額	△103	△104
法人税等合計	953	1,079
少数株主損益調整前四半期純利益	1,243	992
少数株主損失（△）	△29	△78
四半期純利益	1,273	1,071

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,243	992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	912	△690
繰延ヘッジ損益	△22	20
為替換算調整勘定	△177	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	9
その他の包括利益合計	698	△642
四半期包括利益	1,942	350
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,044	405
少数株主に係る四半期包括利益	△102	△55

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
【セグメント情報】
Ⅰ 前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	食料品製造	食料卸売及び飲食店	不動産及びサービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	101,349	6,637	2,284	110,271	463	110,734	－	110,734
セグメント間の内部売上高	1,004	471	237	1,713	646	2,359	△2,359	－
計	102,354	7,108	2,521	111,984	1,109	113,094	△2,359	110,734
セグメント利益	1,826	226	765	2,817	127	2,945	△524	2,421

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。
2 セグメント利益の調整額 △524百万円には、セグメント間取引消去18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △437百万円、のれん償却額 △79百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	食料品製造	食料卸売及び飲食店	不動産及びサービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	106,469	6,416	2,270	115,156	434	115,590	－	115,590
セグメント間の内部売上高	1,247	502	203	1,952	615	2,568	△2,568	－
計	107,717	6,918	2,473	117,108	1,049	118,158	△2,568	115,590
セグメント利益	1,555	269	748	2,573	133	2,706	△677	2,029

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。
2 セグメント利益の調整額 △677百万円には、セグメント間取引消去 20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △543百万円、のれん償却額 △79百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2．報告セグメントの変更等に関する事項
会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。
当該変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

（固定資産の譲渡）

当社は、平成 25 年２月５日開催の取締役会において、下記の固定資産の譲渡を決議し、平成 25 年２月７日付けで不動産売買契約を締結する予定です。

１．譲渡の理由

平成 25 年６月をめどに、操業停止を予定している兵庫県尼崎市の塚口工場跡地を、一部を除き譲渡することと致しました。

２．譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	譲渡価格	帳簿価格	現　況
資産内容：塚口工場 所在地　：兵庫県尼崎市上坂部一丁目１番１号	11,870 百万円	2,850 百万円	工場 事務所 倉庫

３．譲渡先の名称

株式会社　長谷工コーポレーション

４．譲渡の日程

平成 25 年２月５日　　当社取締役会決議
平成 25 年２月７日　　契約締結
平成 25 年 10 月 31 日　　物件引渡し（予定）

５．今後の見通し

上記固定資産の譲渡に伴う固定資産売却益約 85 億円については、平成 26 年３月期に特別利益として計上する予定です。